

2011年度 日本建築学会近畿支部設計競技応募要項

課題：「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計」

主催：日本建築学会近畿支部，グリーンコンクリート研究センター

後援：国土交通省近畿地方建設局，農林水産省近畿農政局，環境省近畿地方環境事務所，
日本建築家協会，日本建築士会連合会，日本建築士事務所協会連合会，
日本建設業連合会，コンクリート関連団体，他

主旨：

本課題は、「コンクリートと木とのコラボレーション」，「地球環境と地域社会の持続可能性」という2つの視角から考えることを企図しており，昨年度に引き続き2度目の実施となる。コンクリートと木は，それぞれ長寿命の建築を実現する材料であり，両者のコラボレーションにより，相互の特質を生かした住まいや住環境像の新たな展開を求める。東日本大震災における復旧・復興のあり方を考えることも，ひとつの有意義な選択肢であろう。循環型・低炭素型社会の構築が要請され，家族やコミュニティのあり方があらためて問われるなかで，「地球環境と地域社会の持続可能性」に貢献し，住文化を次世代に引き継ぐことができる住まいや地域住環境とは何か，その実現の道筋を示す意欲的な提案を期待する。

昨年度は一般部門，学生部門とも意欲的な提案が多数寄せられ，優れた作品もいくつか見られた。しかし，多くはコンクリートや木の材料的特質に関する理解が不十分との指摘があったため，今回の競技では，次世代の建築デザインや技術開発に対し大きな可能性を示唆するような専門性を問いたい。

今年度は設計競技に先立ち，近畿支部関連5部会(材料・施工部会，環境工学部会，設計・計画部会，住宅部会，木造部会)の連携による連続シンポジウムを開催する。ここでは，コンクリートと木による新たな構法の可能性，住まいや地域住環境の持続可能性について，先進的な知見に基づく討論を展開し，応募者に有効な手がかりを提供する予定である。また，応募者には昨年度の設計競技やシンポジウムの記録集を当支部のホームページにて提供するので，是非とも有効に活用していただきたい。

設計競技実行委員会

応募規程

応募部門として一般部門と学生部門を設けます。

応募規定は，応募資格を除き，両部門共通です。

A. 課題 コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な住まいと地域住環境の設計

*コンクリートと木以外の材料の使用を排除するものではありません。

*計画戸数は任意とします。住宅単体の設計提案も可とします。

B. 条件 日本国内の实在の場所(計画対象)を設定してください。

C. 要求図面

- ①現状や計画条件を図や写真等を用いてわかるようにしてください。
- ②設計主旨，配置図，平面図，断面図，立面図，透視図，模型写真等を自由に組み合わせ，わかりやすく表現してください(縮尺明記のこと)。
- ③用紙は A1 サイズ 2 枚(594×841mm，サイズ厳守，変形不可，2 枚つなぎ合わせることは不可)とし，裏面に図面番号を付けてください。

D. その他注意事項

- ①応募作品は，ほかの設計競技等と二重応募になる作品，あるいはすでに発表された作品は応募できません。
- ②応募作品は，本人の作品でオリジナルな作品であることを要求します。

E. 応募資格 特に指定しません。ただし，学生部門で応募する場合は，大学，短期大学，大学院，高等専門学校，専門学校等に在籍している学生，大学院生が対象となります。

F. 提出方法

- ①所定の応募申込書(コピー使用可能／近畿支部ホームページからもダウンロード可能)・主旨概要文用紙(800 字程度，A4 サイズ)を入れた封筒と図面を一括して提出してください。主旨概要文は，記録集に掲載する場合があります。

なお，受領通知が必要な方は，受領通知返信用ハガキ(官製ハガキに代表者の住所・氏名記入のこと)を同封してください。

- ②応募作品は 1 案ごとに別々に提出してください。
- ③締切期日:2012 年 1 月 27 日(金)必着(17:00 まで)
- ④提出先：日本建築学会近畿支部

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1 丁目 8-4 大阪科学技術センター内
TEL 06-6443-0538

G. 審査方法 審査は 2 段階で行います。

- ①1 次審査(非公開) 2012 年 2 月予定。入選作品を選定します。
 - ②2 次審査(公開) 2012 年 3 月予定。大阪市内で公開審査会を実施します^(注1)。候補者による 10 分程度のプレゼンテーションの後に各賞を決定します。
- (注1) 詳細は後日，候補者に通知します。

H. 審査員(順不同)

遠藤秀平(神戸大学教授，特別審査員)，
岸 和郎(京都大学教授，特別審査員)，
宮本佳明(大阪市立大学教授，特別審査員)，
高田光雄(京都大学教授^(※1))
木多道宏(大阪大学准教授^(※2))
川窪広明(大手前大学教授^(※3))
相良和伸(大阪大学教授^(※3))
竹林英樹(神戸大学准教授^(※3))
中村成春(大阪工業大学准教授^(※3))
原 直也(関西大学准教授^(※3))

檜谷美恵子(京都府立大学教授^(※3))

向井洋一(神戸大学准教授^(※3))

安枝英俊(京都大学助教^(※3))

久貝博司(グリーンコンクリート研究センター理事)

(※1) 設計競技実行委員会委員長

(※2) " 副委員長

(※3) " 委員

I. 賞

- ①最優秀賞・優秀賞：部門（一般，学生）別に，最優秀賞 1 点と優秀賞 3 点以内を選定します。（賞金 計 100 万円以内，別に二村賞^(注2)として賞金 計 50 万円以内）
- ②部会特別賞：部門（一般，学生）別に，材料・施工部会賞，環境工学部会賞，住宅部会賞，木造部会賞を各 2 点以内で選定します。（賞金 計 60 万円以内）
- ③佳作：部門（一般，学生）別に数点選定します。

(注 2) 二村賞：コンクリート材料の研究において著名であった，故二村誠二氏(元大阪工業大学- 2010 年 2 月 11 日逝去 -)が本企画の必要性を関係団体に強く提唱され，実施することになりました。

グリーンコンクリート研究センターおよびコンクリート関係 16 団体では，二村氏の功績を長く讃えるために，「最優秀賞」「優秀賞」を受賞された方の中から，それぞれの賞とは別に「二村賞」(賞金合計 50 万円以内)を授与します。

J. その他

- ・課題に関する質疑は受け付けません。
- ・応募函および関連書類は返却しません。
- ・応募作品の著作権，特許権は応募者に帰属しますが，本会ホームページへの掲載や本会の出版物に使用する場合は，無償でその使用を認めることとします。

2011年度 日本建築学会近畿支部, グリーンコンクリート研究センター 設計競技
**「コンクリートと木のコラボレーションによる持続可能な
 住まいと地域住環境の設計」応募申込書**

整理番号	
------	--

作品タイトル			
設定場所 (丁目の住所まで記載)			
応募区分 (○で囲む)	一般部門 ・ 学生部門	所属団体名 入会している建築関係団体が あれば記入してください	

応募者氏名・フリガナ 連絡先 (自宅)		所属 (勤務先, 部課/学校, 学年) 連絡先 (所属)	
代 表 者	フリガナ /	所属 (勤務先, 部課/学校, 学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属 TEL FAX
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先, 部課/学校, 学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属 TEL FAX
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先, 部課/学校, 学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属 TEL FAX
共 同 制 作 者	フリガナ /	所属 (勤務先, 部課/学校, 学年)	
	氏 名 /		
	自 宅	〒	所 属 TEL FAX

注) 太線の枠内をご記入ください。